

慣らし運転について

適切な慣らし運転を行うと、その後のお車の性能を良い状態に保つことができます。

この車は乗り初めてから100kmを走行するまでは急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

エンジンのかけかた

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。エンジンは、風通しの良い場所でかけてください。

エンジン始動は、20～22ページの「始動手順」に従って行ってください。

- エンジンをかける前に、オイル、ガソリン、冷却水などの点検をしましたか。必ず点検を行ってください。(日常点検は、43ページ参照)
- エンジンをかけるときは、必ずメインタンドを立ててください。
- また、メインスタンドロックのロックスバーが“UNLOCK”の位置になっている事を確認してください。
- 急な飛び出しを防ぐために始動時は、必ずブレーキロックレバーをかけ、後輪をロックしてください。
- 後輪ブレーキの調整が正しく行われていないとロックできません。(後輪ブレーキの調整は、46ページ参照)

⚠️ アドバイス

- スタータースイッチを押して5秒以内でエンジンがかからないときは、10秒くらい休んでからまた押してください。
- これはバッテリー電圧を回復させるためです。
- 無用の空ふかしや長時間の暖機運転はしないでください。ガソリンの無駄使いになるばかりでなく、エンジン等に悪影響を与えます。